

くるりんぱ

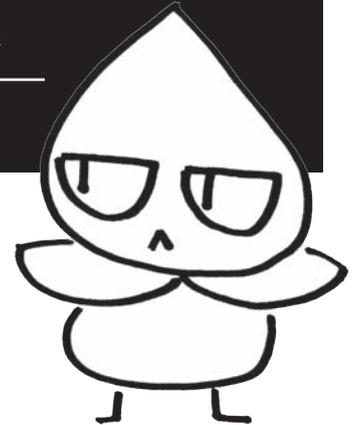
kururin.pa

2007環境フォーラム特集号



クリンちゃん
無口で
はずかしがりやの
キレイ好き。

グレンちゃん
ぐめてるワルだけど
さみしがりや。
クリンちゃんとは
おともだち...?



平成19年度 小金井市環境フォーラム

環境博覧会in小金井

—手をつなごう小金井のかんきょう—

プログラム

時間	催し物	
9/23(日・祝)	13:00~	開会・環境賞表彰式
	13:00~17:00	出展団体のパネル展示等
	13:00~15:30	映画「不都合な真実」鑑賞無料(保育あり) 小学生対象「食べもののひみつ」紙芝居と買い物ゲーム
	15:30~16:00	映画感想トーク「私たちがすべき10のこと!」
9/24(月・休)	10:00~16:00	出展団体のパネル展示等
	10:30~11:30	ポスターセッション(展示団体の活動紹介)
	12:15~12:45	ごみ分別ゲーム「これって何ごみ?」
	13:00~15:30	シンポジウム「エコヒストリー・水から考える小金井のまちづくり」 小学生対象「食べ物のひみつ」紙芝居と買い物ゲーム

9月23日(日・祝)・24日(月・休)
法政大学工学部・西館

主催: 小金井市環境市民会議

共催: 小金井市、法政大学エコ地域デザイン研究所

お問い合わせ: 小金井市環境政策課 042-387-9817

www.koganei-kankyo.org

e-mail jimukyoku@koganei-kankyo.org

●会場までのアクセス

徒歩=

JR東小金井駅北口から約15分

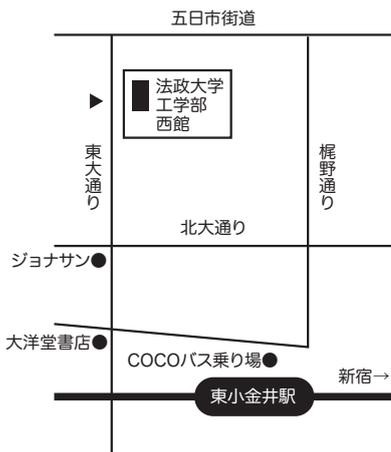
COCOバス北東部循環=

武蔵小金井駅北口から

「法政大学」で下車(13分)

東小金井駅北口から

「法政大学」で下車(4分)





ごあいさつ

小金井市環境市民会議 代表 平井正風

環境フォーラムを「環境博覧会」としてこのような形で会を開くのは、昨年に続き3回目になります。今回も、団体、個人、企業、教育機関、行政、そして私ども小金井市環境市民会議を含めて、多くの団体・個人の皆様が参加してくださいました。

今回も昨年と同様、メイン・テーマを「手をつなごう 小金井のかんきょう」としたのは、前回から1年たった今でも、環境市民会議の内外で、「環境」というキー・ワードを通して、人と人がお互いを知ること、つながることの意義や、一言で「環境」といっても、色々なことがあり、他の人が関わっている環境活動について知ることの大切さについての声が聞こえ続けていたからです。

また2007年小金井環境博覧会のメインイベントは、22日に上映される映画『不都合な真実』、それに翌23日の『ごみ分別ゲーム』と、それに続くシンポジウム『エコヒストリー～水から考える小金井のまちづくり』ですが、22日には地球規模の視点でグローバルに、23日には小金井の水やごみという、身近な視点で環境をとらえることができるような企画にしました。どうぞ皆様、その他の場内展示も含め様々な視点で切り取った小金井の環境を体験して下さい。

今回、この博覧会のために本プログラムを用意しましたが、これは会報も兼ねています。小金井市環境市民会議が日頃どのような活動をしているかほんの少しだけ見ていただくことができるかもしれません。そこでは会員たちが、「環境」という、多少重苦しい言葉を意識しながらも、意外に軽いフットワークで、楽しみながら関わっている様子がお分かりいただけるかと思います。どうか皆様、気軽に近くの環境市民会議のスタッフにお声をかけていただき、『小金井市環境市民会議って何やってるの?』とか、『小金井の環境では何がいちばん大切なの?』など率直に色々質問していただいたり、自分が普段から気になっていることを投げ掛けてみてください。

また、2007年環境博覧会は、法政大学エコ地域デザイン研究所のご協力なくしてはあり得なかったことを、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

2007年9月



小金井市環境市民会議

環境市民会議会場案内図

法政大学工学部西館



マルチメディアホール
(地階)

- ★映画「不都合な真実」
- ★シンポジウム「エコヒストリー」



校門

子ども・子育てと環境

東京学芸大学付属 環境教育実践施設 ちえのわ
KOKOぷらねっと
わんぱく夏まつりの会
小金井にプレイパークを作る会
特定非営利活動法人 回帰船保育所
小金井市環境市民会議 環境学習部会 たんぼの時間
土ようのたまり場

どもイベント

- ひたあめコーナー
- 「たべもののみみつ」がわかる!紙芝居&お買い物ゲーム
- 「染め物エコバック」づくりと「むかし遊び」
- *風流!ムギわら細工で「ホテルかご」づくり
- *東京ガス(株)多摩支店のワークショップも!

自然・まちづくり

東京都北多摩南部 建設事務所工事2課
都 河川部&土木研究センター
NPO法人ひ・ろ・こらぼ
小金井巨樹の会
名勝小金井桜の会
小金井公園桜守の会
生活クラブ運動グループ小金井地域協議会
自然の会こがねい
みんなでつくる野川ピオトープの会
岩城研次郎さん
こがねいまちづくりフォーラム
東京電力(株)武蔵野支社
花咲く果樹園in小金井
小金井市環境市民会議 調査部会
小金井市環境市民会議 地下水部会
小金井市環境市民会議 まちづくり部会
小金井市下水道課
小金井市環境部環境政策課
野川自然の会
特定非営利活動法人グリーンネックレス

食・海外の環境

ミュゼダグリ
北欧楽会



小金井三大大学の
環境への取り組み

法政大学エコ地域デザイン研究所
法政大学 永瀬研究室
東京学芸大学付属 環境教育実践施設
東京農工大学細見・中島田研究室

出茶屋
コーヒー屋台

ごみと環境

小金井市消費者団体連絡協議会
小金井市環境市民会議 ごみ部会
小金井市ごみ対策課
シニアSOHO小金井
トンボの会
小金井市放射能測定器運営連絡協議会
ごみゼロ化推進会議

ごみ
分別
クイズ

「これって何ごみ?」

分別しにくいごみに番号をつけ、参加者に分別してもらう。
司会のごみ名人の千村さん。回答はごみ対策課の三塚さん。
賞品もあります。



映画「不都合な真実」



【不都合な真実】

第79回アカデミー賞2部門受賞
(最優秀長編ドキュメンタリー賞、
最優秀主題歌賞)

監督・製作総指揮：
デイビス・グッゲンハイム

出演：
アル・ゴア

- 9月23日(日・祝)
- 13:30～上映
- 15:30～Talk Show
- 西館地下・マルチメディアホール



■ストーリー

地球温暖化の問題に熱心に取り組んできたアル・ゴア前米副大統領のスライド講演の様を、彼の生い立ちを辿ったフィルムを交えつつ構成した97分間のドキュメンタリー映画。

世界各国での講演は1,000回を越え、30年以上にも渡るその活動は「人類が地球のために何ができるのか」を訴え続ける闘いの日々であった…。過去の豊富な気象データや、温暖化の影響を受けて衝撃的に変化した自然のフィルムを数多く使いながら、この問題を直視しない政府の姿勢を批判し、人々が生活の中で環境を守る努力を続けることの重要性を訴えている。

■Talk Show ----- 進行・土井利彦

映画「不都合な真実」を見る

—わたしたちがすべき10のこと—

わたしたちの身の回りにある「環境問題」。じつは、それが積もりに積もって地球大の環境問題に発達するとどうなるのか。「不都合な真実」は、そのような地球大の問題を指摘する。

それを解決するのは、やはり身の回りの「環境問題」を意識し、細かに対処していくことだろう。まずは、たった10でいい。はじめていこう!

だが、それだけでいいのか。不都合な真実は、さらに大きな問題を提起している。

その大きな問題は、映画を見終わった後で明かされる。

シンポジウム「エコヒストリー～水から考える小金井のまちづくり」

今日の地球環境問題は、いよいよ避け得ない現実として私たちの生活に関わるようになってきました。今年、アル・ゴア元米国副大統領による映画「不都合な真実」が世界中で大ヒットしたこと、IPPC(気候変動に関する政府間パネル)の第4次報告書がまとまったことで、地球環境の危機的な状況が広く伝わるようになりました。これに伴い、腰の重かった米国や日本も本格的な取り組みを始める状況になってきました。

地球環境問題を解決するための取り組みは、全ての人の日常的な生活を見直すことから始めなければいけません。そのためには、地域ごとに、その場所の「エコヒストリー」(歴史と生態系)を正しく把握し、その環境を踏まえた取り組みを行う必要があります。小金井においても、市と市民、大学が連携して「小金井環境博覧会」が開かれます。そこで、エコヒストリーを踏まえて、特に「水」という視点から、小金井のまちづくりを考えるシンポジウムを開きたいと思います。



- 9月24日(月・休) 13:00～15:00
- 西館地下・マルチメディアホール



時間	内容	タイトル	講演者
13:00	ご挨拶		陣内秀信(法大教授)
13:10	大学の取り組み1 大学の取り組み2	小金井のエコヒストリー 小金井のまちデザイン	神谷博(法大講師) 永瀬克己(法大教授)
13:50	実践報告1: 小金井市の取り組み	湧水保全と雨水浸透柵設置 の効果	倉宗司(小金井市役所)
14:05	実践報告2: 市民の取り組み	市民による地下水調査、 用水路調査、雨水利用	曾我信也(小金井環境市民会議)
14:20	パネルディスカッション	「地球環境時代の小金井の 水とまちづくり」	コーディネーター:陣内秀信 パネリスト:永瀬克己、神谷博、 森田喬(法政大学) 木俣美樹男(学芸大学) 倉宗司(小金井市役所)
15:30	終了		小山美香、遠藤友章、瀧本広子、 土肥英生、曾我信也 (以上環境市民会議)



市民団体活動紹介 順不同

■小金井市放射能測定器運営連絡協議会

私たちはチェルノブイリ原発事故をきっかけに小金井市に購入された放射能測定器で食品に含まれる放射能を測定し続けているグループです。測定のお申し込みは市役所経済課042-383-1111(内線279)にお問い合わせください。

小金井市緑町5-19-14-608 Tel/fax:042-385-6650
(事務局/江藤)

■小金井市ごみゼロ化推進会議 啓発部会

効果的な生ごみの水切りと生ごみ消滅型処理機を紹介:

小金井市はごみの減量とリサイクルが緊急の課題となっています。ごみ処理施設が出来る迄の10年間、毎年5億円以上の税金の負担が増えます。生ごみの水分を10%減らすだけで毎年6000万円以上の経費節減が可能。効果的な水切り法と運搬・焼却の必要がない消滅型生ごみ処理機の展示と使い方を紹介します。

小金井市環境部ごみ対策課042-387-9835

■小金井市ごみゼロ化推進会議 事業所部会

★プログラム「事業所ごみの実態調査」から見えるもの

燃やせるごみの収集日前日から当日の朝にかけて、武蔵小金井駅周辺を北と南に分かれて、ごみの実態を調査。目的は、事業系指定収集袋の使用とごみの分別状況を現場から学習することでした。

★活動

- 1・コンビニでのマイバッグ持参とレジ袋削減運動の展開
- 2・まち美化部会の活動への協力
- 3・予定として、事業所ごみの第2次実態調査や商工会を通して業種別組合との話し合いを持ちます。

(部会長 中村良子) 連絡先 ごみ対策課 387-9835

■岩城研次郎

昨年はISO14001環境マネジメントシステムを出展しました。今回は環境アセスメント(環境影響評価)をやさしく説明します。環境アセスメントは今後ますます重要になると思います。

小金井市緑町:岩城研次郎 TEL 042-381-8948

■NPO法人 ひろ・こらぼ

住み続けたいまち、住み続けられるまち育て、環境問題や福祉、子どもたちが楽しく安全に育つ環境づくり等の活動をしています。

Tel.042-304-8339

<http://members.jcom.home.ne.jp/copig/>

E-mail copig@jcom.home.ne.jp

コ・ラ・ム

「緑陰のあるまちかど」を

今年の夏も暑かったですね。駅前広場、幹線道路……。思えば、市内の道路や駅前の広場には木陰のある場所をあまり見かけません。温暖化が進む現在、私たちの健康を守る上でも、みどり豊かな小金井を標榜する上でも、「緑陰をつくり、つなげていく」という視点が大切だと思います。

今、中央線の高架化事業に合わせて、駅前広場やあちこちの道が整備されようとしています。これを機に「緑陰のあるまちかど」を増やしていきたいと思います。

(グリーンネックレス 小谷俊哉)

■野川自然の会

野川周辺の豊かな水環境を取り戻し、そこに集まる色々な生物と人々がふれあう場を作り出すことを目標とした東京都の事業に市民が主体的に参加しています。田んぼづくりや生き物観察に皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

ホームページ(<http://outdoor.geocities.jp/nogawanature/>)の「お問合せ」、または

東京都北多摩南部建設事務所工事第二課

TEL:042-330-1850、FAX:042-369-3890

■野川流域連絡会

野川流域連絡会は、野川を地域に活きた親しめる川とため、野川に関心をお持ちの都民委員(公募)と都および流域関係区市の行政委員で野川に係わる情報や意見交換等を行うことを目的として、平成12年8月に設置されました。現在は、第3期目(任期2年間)を向かえ都民36名・行政委員19名が、水環境分科会と生きもの分科会に分かれて活動しています。今回は、その活動状況を紹介しします。

東京都北多摩南部建設事務所工事第二課(担当)清水・森田

〒183-0006府中市緑町1-27-1

TEL:042-330-1845 fax 042-369-3890

■東京都土木技術センター

大都市東京の土木行政のサポートセンター。現場を直接サポートする技術支援、支援に必要な調査・開発、計画・設計・施工に役立つ技術情報、データの蓄積、提供を行っています。東京の道路・河川、舗装・橋、地盤・地質・地下水、地震・液状化、測量など、何か知りたい時はご相談ください。今回は、野川に関する小金井市内の地下水調査結果を紹介しします。

連絡先:東京都土木技術センター技術調査課地下水調査係

(担当)川合 千136 0075江東区新砂1-9-15

TEL:03-5683-1589 fax 03-5683-1515

<http://doboku.metro.tokyo.jp>

■東京都建設局河川部

紹介文:東京都では、河川法で定められた具体的な川づくりを明らかにする計画「野川流域河川整備計画」を平成18年3月に策定しました。今回は、その中の「みんなで決める納得流量」や「市民とつくる河川情報図」について、野川流域連絡会と協力して取り組んでいる状況などを紹介しします。

連絡先:東京都建設局河川部計画課総合治水河川係

(担当)富澤・榎本 〒163-8001新宿区西新宿2-8-1

TEL:03-5320-5415 fax03-5388-1533



通りを覆い尽くす屋敷林(梶野町)



■自然の会こがねい

主に市内において、奇数月第4土曜を中心にいきもの観察会を行っています。2006年3月には、約5年半の観察記録を『小金井のいきものマップ2006』と『いきものリスト』として発表しました。

事務局 高橋利行/小金井市前原町1-15-19丸山荘3
090-9682-8603

■みんなでつくる野川ピオトープの会

(略称:野川ピオトープの会)

当会は平成12年7月に、市民、小金井市、北多摩南部建設事務所との3者で構成する実行委員会を経て「みんなでつくる野川ピオトープの会」として設立されました。設立直後から市民に呼びかけ月1回、チビッコ達も参加し、自らスコップを持って、野川第1調節池に池を掘りました。池は9ヵ月後に完成し、「どじょう池」と命名されました。

「どじょう池」には様々な生きものが生息するようになり、子どもたちが泥んこになって池で遊び、生きものと触れ合う場所になりました。当会の活動は、北多摩南部建設事務所との緊密な情報交換を前提にした、池及び水路の維持管理、植栽管理、ごみ等の収集運搬、ならびに利用者へのPR、情報の提供と多岐に渡っています。

この度具体化した野川の「自然再生事業」は私たち「野川ピオトープの会」の成功が少なからず好影響を与えているとの事で、ここ数年間の着実な活動の結果とひそかに自負している次第です。

(事務局 藤崎)

■東京学芸大学環境教育実践施設

環境教育の研究と実践として、エコミュージアム日本村・植物と人々の博物館づくり、雑穀の研究と保存、地域の環境教育教材づくり、環境学習中堅指導者養成、GLOBEプログラムの日本センター、などを企画・運営している。

木俣美樹男 E-mail kimatami@u-gakugei.ac.jp
<http://www.fsifee.u-gakugei.ac.jp/millets>

■東京農工大学工学府 細見・中島田研究室

東京農工大学 工学府 細見・中島田研究室では、飼料イネを用いた環田研究室では、飼料イネを用いた環境浄化、ダイオキシン類など有害物質の管理、バイオマスの再資源化等を主なテーマとして生物・物理・化学的なアプローチで日々研究を行っています。

電話番号:042-388-7070

<http://www.tuat.ac.jp/~hosomi/>

■法政大学大学院エコ地域デザイン研究所

当研究所は、文部科学省の学術フロンティア推進事業の助成を受け

て活動をしており、法政大学の全学的な取り組みです。歴史とエコロジーを手がかりとした水辺再生を研究の目的としていおり、小金井の水辺再生にも取り組みます。

<http://www.eco-history.com/>

■小金井まちづくりフォーラム

わたしたちは、小金井まちづくり条例づくりを通じて、小金井らしいまちづくりをどう進めていこうかと研究や勉強を進めてきました。小金井まちづくり市民会議を母体として発足した組織です。環境市民会議まちづくり部会などと協力して、環境配慮指針や環境行動指針、連雀通りのみちづくり提案などを行っています。

■特定非営利活動法人 グリーンネックレス

グリーンネックレスは、2000年から中央線三鷹～立川間の市民、大学、行政 等と連携して、中央線沿線の環境共生まちづくりにとりにくんでいます。最近では、活動の柱の一つである「雨水の利活用」について、沿線7大学の研究室等と連携して、「雨の学校」や「スカイオーターフォーラム」を開催しています。また、会員の輪を広げる交流会「中央線まちかど交流室」を定期的に開催しています。

電話:042-385-3191

<http://www.green-necklace.org/gn/>

E-mail info@green-necklace.org

■NPO法人シニアSOHO小金井

シニアの能力と経験を活用し、シニアの地域社会参加を促す事業(地域情報サイト・小金井info、だれでもトイレ支援、定年後の地域参加促進、IT教育、花咲く果樹園の支援、生ごみ処理の推進など)を行っています。

<http://sohokoganei.org/>

■小金井市消費者団体連絡協議会

市内の消費者団体が連携して消費者講座、機関紙スクラム発行、リサイクルバザー・おもちゃの病院・食器リサイクル(毎月第三木曜日10時～11時30分 上之原会館)消費者ルームまつり(毎年3月開催)その他、消費生活展参加など消費者問題の啓発事業などをしてしています。

代表 戸張雅子 前原町5-16-17 042-387-7668

E-mail o-yuriko@abox7.so-net.ne.jp

■NPO法人ミュゼダグリ

私たちは都市農業の活性化という視点から、駐車場やアパート経営に対抗しうる農業経営を考えることから出発しました。行き着いた答は、これまでの「生産」を中心とした農業ではなく、農体験の「サー

コ・ラ・ム

生ごみの行方

地球上に生物が出現して以来、生まれては死んで行った生物達は膨大な量になるが、私達が森を歩いても水辺を覗いても、それ等の死骸が累々と積み重なっているのに出会う事は無い。それは微生物がCO2と水に分解してくれるからである。生物である生ごみは微生物により最終物になる手前で堆肥に成り他の生物を育てる土壌として循環させる事が自然の理。委託処分するごみを減らす為に、或いは虫や臭いが嫌だからと電気エネルギーを借り分解する事には疑問を感じる。そして電気分解したごみには不分別な場合ピニー

ルも金属も姿が分からなくなって混じるだろう。それは堆肥に混じる以上に深刻である。一器分、一回分は微量でも沢山の長い年月に渡る生成物の行方はどんな意味を持つのだろうか。

(千村裕子)





ビス産業化」です。それは、都市住民の「土にふれてみたい」「野菜や草花を育ててみたい」という欲求を取り入れ、農業の周辺にあるさまざまな活動を網羅した「レクリエーションな農体験」を提供することだと考えています。農体験の場づくり(=農地を残すこと)は、都市の貴重な緑環境や水環境の保全にもつながります。ミュゼダグリ(MUSÉE d'Agri)とはフランス語で「農文化の博物館」という意味ですが、レクリエーションな農体験はまさにこの博物館のイメージです。いま小金井では行政、地元JA、飲食店が「江戸東京野菜」をキーワードにした「まちおこし」に取り組みはじめていますが、ミュゼダグリはこれを支援しています。

184-0004小金井市本町3-8-9-703 時遊編集室内
TEL. 042-380-6771 FAX. 042-380-6772
URL. <http://www.musee-d-agri.org/>

■小金井巨樹の会

1988年に発足。植物研究家の阿部正敏先生の指導の下に、毎月一回金曜日に都内及び近郊の巨樹を訪ねながら、植物の観察や記録を行っています。先生亡き後も会は続き、今秋10、11月には市内の樹木観察をする予定です。

代表 関田佳子 TEL/FAX 040-381-9906

■小金井公園桜守の会

世話人会 TEL 042-381-5548

■名勝 小金井桜の会

私たちは、大正13年12月9日付で国の「史跡名勝天然記念物保存法」に基づき名勝に指定された歴史的文化遺産である小金井サクラのヤマザクラ並木を次代に適切に継承することを目的に、2007年6月従来の「名勝!小金井桜に親しむ会」と「名勝小金井桜を守る会」が合併して誕生しました。

私たちは、毎月第3土曜日の午前10時から文化財センターで「小金井桜」を愛で、保存や管理の方法を通して会員相互の交流と親睦を図ると共に茨城県桜川や岩手県北上の小金井桜に関わる関連自治体との交流を続けています。

事務局E-mail kazu2@jcom.home.ne.jp 小沼
<http://koganeizakura.web.infoseek.co.jp/>

■小金井にプレイパークを作る会

武蔵野公園くじら山や学芸大学で定期的に冒険遊び場を開催。ケガと弁当は自分もち、を合言葉に、畑仕事や秘密基地作り・焚き火や木工など実体験を重視した自由な遊びを地域に広げる活動。里山体験学習や子育て講座も実施。

事務局 邦永042-385-8754
yoko-dfp@mti.biglobe.ne.jp

コ・ラ・ム

毎月第三木曜日はリサイクルデー!

小金井市消費者団体連絡協議会(以下消団連)は牛乳パック回収を初めとして、ごみ減量のためのリサイクル推進活動をしてきました。その活動の代表がリサイクルバザーです。前身である不用品交換会から数えて20年余にもわたり開催しています。毎月第三木曜日、上之原会館で開催し、出店は市民のみ。本人の責任において値付けをして販売し、売れ残ったものは持ち帰っていただきます。出店料は1区画200円。毎月20人以上の出店があります。常連の出店者も多く、買手との和気あいあいとしたやりとりも見受けられ、和やかな雰囲気です。

<http://blogs.yahoo.co.jp/waratotsuchi/folder/1459315.html>

■北欧楽会

北欧に関心のある人、この指とまれ!とスタートして10年。小金井市公民館を中心に毎月一回、北欧について様々なトピックスや、政治・経済・教育・文化・芸術、そして旅の印象・報告など楽しみながら情報交換したり学んだりしています。

042-392-8069(宮本)

■特定非営利活動法人 回帰船保育所

武蔵野自然公園のはらっぱや野川などで体感する、土、水、風、虫や鳥、草や木、恵まれた自然全てが子どもたちの豊かな育ちの糧となるよう、野外遊び中心の保育をしています。

TEL/FAX 042-384-1839

<http://www.npo.isnet.ne.jp/184kaikisen/>

■土ようのたまり場

土ようのたまり場は5年前、学校運休2日制と同時に南小の教室で開始。誰でも何歳でも参加でき、絵・工作・手芸・ゲームを通して、異年齢とのコミュニケーション、手の技を育むが、目的。今回リサイクル工作で参加。

千村裕子 TEL/FAX 040-384-2455

<http://blog.goo.ne.jp/doyo-tamariba/>

■わんぱく夏まつりの会

毎年8月の最後に実施する、都立武蔵野公園くじら山と原っぱ、周辺の野川で「わんぱく夏まつり」の母体団体です。わんぱく菌に感染した異年齢・異業種の市民有志が集まっています。

Tel.042-301-8199 アトリエネット内

<http://members.jcom.home.ne.jp/wanpaku-natsu/>

E-mail wanpaku-natsu@jcom.home.ne.jp

■東京学芸大学 サークルちえのわ

大学周辺の小学4年生から中学3年生までを対象に、月に一度大学の農園で「種から胃袋まで」をテーマに、食農文化体験を行っている。子どもたちが環境を学ぶ場であると同時に、大学生にとって環境教育の実践の場となっている。

連絡先:gakugei_chienowa@yahoo.co.jp

■KOKOぶらねっと

小金井市在住の母親たちを中心に結成した非営利団体。子育て・子育てを応援したいと、0歳から思春期までの子どもたちとその周りにおとなを対象に、小金井子育て生活情報紙『KOKOぶれす』の発行など、主に情報発信を中心に活動しています。

1993年には「おもちゃの病院」も併設し、さらに今年6月からは食器リサイクルが加わりました。食器リサイクルは割れたり、不用になった陶磁器(素焼きの土鍋、コレールはのぞく)を回収し、まずは欲しい市民の方へ買っていただき(同時開催のリユース市で頒布。売り上げは送料に充てる)、残った回収食器を生産地の岐阜県に送ります。生産地で回収食器は粉碎され、リサイクル陶土になり、「Re-食器」という再生食器に生まれ変わります。第1回の回収量は500kにもなり、市民の関心の高さに驚きました。高齢の方からは「上之原会館まで運ぶのは大変」という声があり、より身近な場所での拠点回収が出来ないかと思っています。毎月第三木曜日10時~11時30分開催です。ぜひ一度ご参加ください。(恩田百合子)



TEL 090-9826-0189 Mail kokop510@yahoo.co.jp
 HP <http://www.geocities.jp/kokoplanet5/>
 ブログ <http://blog.livedoor.jp/koko5555/>

■花咲く果樹園in小金井

皆さんは真井南町にあったムラサキハナダイコンの栗畑を覚えていらっしゃいますか？春風に揺れる可憐な花、夕暮れ時には幻想的な色彩の絨毯のように素敵でした。その「再現を!!」願っています。果樹園の底地を裸地にする・・・が小金井市の基本方針。でも除草労務がきついで、除草剤を散布しているのが現状です。除草剤よりハナダイコンの花を植え、みどりの景観としてかつ地下水の涵養に貢献する農地の存続を願っています。

事務局 184-0015小金井市真井北町5-22-4

電話 042-322-0038

Email CYK02707@nifty.com

■生活クラブ運動グループ小金井地域協議会

小金井地域協議会は「食の安全」を皮切りに、誰もが自分らしく安心して暮らせるまちを実現するための活動を続けてきました。現在、生活クラブ生協まち・小金井、土ようのたまり場、ほっとわあく(NPO法人)、はあとぼっと(NPO法人)、小金井・生活者ネットワークの5団体が参加しています。主な活動として一言提案や(市民の意見をまとめ行政に提案する)、大気汚染調査、野川の川辺環境調査、石けん運動などに取り組んでいます。今回の博覧会では石けん運動の一環として、乳幼児にとくに被害の深刻な合成洗剤の影響をより広く知ってもらうために、パネル展示や「かいわれ大根」による発芽の実験で危険性を訴えます。(TEL/FAX 042-387-1068)

■小金井のごみを考える会・トンボの会

1993年に発足、ごみに関心のある人は誰でも参加出来ます、これまで市議会への請願・陳情や調査・学習会・シンポ・見学会等を行ってきました、年2回「トンボの会ニュース」を発行しています。今年も年頭に小金井市議会に陳情を出しました。今回の環境博では手動削減型生ごみ処理機の展示を中心に参加します。

市原賤香(0422554767)

■小金井市環境政策課

環境行政の総合的な推進、公害対策、公害関係法令に基づく届出の受理、衛生害虫の防除、空き地の管理の適正化、スズメバチ等駆除用具の貸出しなどを行なっています。

また、雨水の積極的な有効利用と節水活動を目的として、雨水貯留施設(貯留タンク等)を設置する方に設置費用の一部を補助しています。

緑化施策としては、市立の都市公園・児童遊園・子供広場等の維持

管理、緑地の保全と緑化の推進、みどり豊かな街並みをつくるため、生け垣造成奨励金交付制度を設けています。

[連絡先]

TEL:042-387-9817(環境係)

042-387-9860(緑と公園係)

FAX:042-383-6577

メールアドレス:s040199@koganei-shi.jp

■小金井市ごみ対策課

廃棄物の発生抑制及び再利用を促進するとともに、廃棄物を適正に処理し、併せて生活環境を清潔にすることによって、生活環境の保全、公衆衛生の向上、資源循環型の街づくりを図り、市民の健康で快適な生活を確保するために各種施策を実施しています。また、新焼却施設の早期建設に向け、準備を進めています。

現在、小金井市の燃やすごみを焼却処理してきた二枚橋焼却場は、経年による施設の老朽化のため、平成19年3月末日で全焼却炉を停止しました。このため、小金井市の燃やすごみは、多摩地域の多くの市及び一部事務組合に広域支援により処理していただいています。各施設及び周辺住民の皆様へのご負担を軽減するため、更なるごみ減量、分別ルールの徹底を図らなければなりません。

そこで、小金井市は平成18年10月1日付けで「ごみ非常事態宣言」を発し、市民の皆さんに燃やすごみの10%減量(1人1日50グラム・卵1個分)をお願いしています。紙ごみの分別や生ごみの水切りなどによる燃やすごみの減量、空き缶やビンなどの焼却不適物を混入させないなどのルールの徹底を、切にお願いします。

ごみ処理は、市民生活にとって1日も欠かすことができないものです。ごみ減量と分別ルールの徹底について、市民・事業者の皆さんのご協力をお願いします。小金井市は今後も、燃やすごみが長期間にわたり安定的に処理できるように、最大限の努力をしまいにいます。

[連絡先]

TEL:042-387-9835

FAX:042-383-6577

メールアドレス:s040299@koganei-shi.jp

■小金井市下水道課

雨水浸透事業を市民の皆さんと創めて20年。雨水浸透施設設置率50%をこえるこの事業は、世界に誇ることが出来ます。環境博覧会では「日本雨水浸透施設工業会」の協力で浸透ますモデルを会場に設置しPRします。

これから、雨を下水道に流さない「保水型まちづくり50年継続」を皆さんと共に考え協働実施しましょう。

TEL:042-387-9856

FAX:042-384-5771

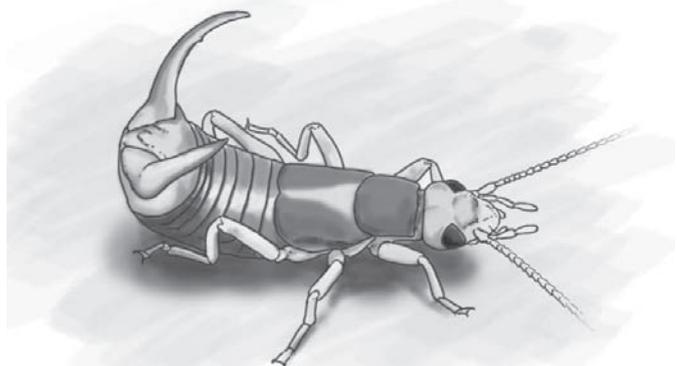
メールアドレス:s060599@koganei-shi.jp

コ・ラ・ム

オオハサミムシ

田んぼの水路補修をしていると、いろいろな生き物がすみかになっているのに出会える。ケラやコオロギ、地表性のクモたち・・・。その中で出会ったひとつがオオハサミムシ。名前のとおり、オシリのハサミが大振りである。このハサミをつかって、身を守ったり、エサを器用につかんだりする。畑や草はらなどでみられる。

(高橋利行)





環境市民会議部会紹介

■環境市民会議 環境学習部会「田んぼの時間」

小さな田んぼから子ども達に環境を伝えたい、豊かな米文化を子ども達に伝えたい、という思いから「田んぼの時間」はスタートし、今年で四年目をむかえました。東京学芸大学環境教育実践施設内の田んぼでは今年も黄金色のお米が豊かに実りました。田植え、草取り、稲刈り、脱穀、収穫祭に加え、毎年一つのテーマを設け、田んぼのもつ懐の深さを参加者と共に実感できるようプログラム作りを進めています。

今年のテーマは「伝承文化」。地域に残るお米にまつわる伝承文化を掘り起こし紹介しています。11月の収穫祭では、関野町餅つき唄保存会の方々をお招きし、子ども達の唄に合わせてお餅つきをする予定です。豊かな恵みを喜び感謝するところから、小金井のまちの環境へのまなざしへと繋げていければと願い、活動を行っています。



■環境市民会議 まちづくり部会

07年1月、環境行動指針案、環境配慮指針案をまとめ、環境市民会議案として小金井市に提出し、行政との協働によるまちづくりなど市民会議案の提案項目がたくさん盛り込まれました。また今年7月連雀通りの道路整備事業である「みち・まちパートナー事業」に市民会

議案として提案しました。50年後「緑の回廊」をイメージして、誰もが安心して歩き、人々が行き交う賑わいのある通りを実現できるようにと、緑陰の豊かな樹種の選定やベンチの設置、辻ごとにサクラを配置するなど具体案を提出しました。



■環境市民会議 地下水測定部会

昨年、手作りで測定器をつくることからスタート。10人のメンバーが4チームに分かれ、市内17ヶ所の井戸の水位を毎月1回測定して1年が経ちました。毎月の記録は、市役所第2庁舎のロビー入り口に掲示板をつくり、貼り出しています。今年9月からは、湧水チームを作り、湧水量も3ヶ所で測定を始めました。一緒に測定をしてくれる仲間を募集中です。

■環境市民会議 ごみ部会

小金井市の緊急課題に対して、他のごみ活動グループと連携し、地球温暖化につながらない処理や減量の方法など、ごみに関する情報を可能な限り発信します。展示も見て下さい。

連絡先 中村良子 042-385-9755(Tel&Fax)

コ・ラ・ム

田んぼ物語【4】 彼岸の花

田園が一面黄金色に染まる頃、いよいよ刈り取り準備も始まる。黄色い絨毯のあちこちに赤い点がポツポツ現れたかと思うと、あっという間に畦を覆うほどの彼岸花がいっせいに開花する。黄色に赤色の組み合わせは中々出来る配色ではない。稲の一年を締めくくる最後のお祭りのように華やかだ。祖母を亡くした翌年(小4の年)学校の帰りに彼岸花畑に行くと、すごく綺麗だし、祖母は田んぼが好きだった。新しい仏前に、おはぎと一緒に飾ってあげよう、思いついたが、玄関で母に止められた。「彼岸に入れると火事になるから捨てておいで」と言



ら。いかにも迷信くさい。だけど花の形を見ていると炎のようにも見える。本当なのか? 他の地域にもこんな言い伝えがあるのだろうか……?

後から考えると、彼岸花は畦を丁寧に草刈りしないときれいに咲かないらしい。現在、実家近くの田んぼでは、減反が進み、高齢化が進み、除草剤も普及し、畦草刈りを減らしたためか、彼岸花を見なくなった。

また、彼岸花は勝手に生えてくるのではなく、植えられたものであることがわかった。多年草で、球根に毒があり、モグラの田んぼへの侵入を防ぐ為のものらしい。モグラの穴は田んぼの水抜けの原因になる。……………

瀧本広子) 田んぼ物語【1】～【4】環境市民会議のHPで連載中

■環境市民会議 緑調査部会

減少し続ける緑地の実態を把握するために市内全域の緑の調査を行っています。前回の全域の緑地調査に続き今回は市内約200ヶ所の公園・緑地の細部調査を進めています。近隣の住民に愛され利用されている公園は意外と少なく、殆ど利用されていない狭く寂しい公園が目立ちます。また、緑地の殆どは鍵がかかり利用することもできません。このような状況の公園・緑地をどうすれば市民の憩いの場として楽しく利用できるようになるのか検討を重ねています。



■環境市民会議 イベント部会

環境講座、環境フォーラム、施設見学会の3つの企画を中心にイベントを行っています。環境講座では、6月に「市民ができる地球環境保全」のテーマで地球規模の環境問題から自分たちの暮らしの足元を考える講座を行いました。環境フォーラムは、環境博覧会を開催して3年目になり、市内の法政大学とも共催し、活動の幅が広がりました。冬には、身近な環境施設の見学会を予定しているので見学したい場所やご意見をお寄せください。担当 堀井



小金井市環境市民会議とは

私たちは、大気・水・土壌・生物といった自然環境と、まち・ゴミ・エネルギー などといった社会的・人工的環境の中で、より豊かな生活を求めて暮らしてきました。

しかし、近代の急速な人間活動の拡大と発展は、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムを生み出し、身近な自然の減少や都市・生活型公害など、様々な環境問題を発生させ、さらには、すべての生物の生存基盤である地球環境をも脅かすまでになっています。環境問題は、まさに私たちの身の回りで起こっている問題なのです。

環境を考えるときに大切なことは、自分のまわりに興味・関心を持ち、環境問題を自分のこととしてとらえることです。そうすることで、今まで気付かなかつたことに気付き、見えなかったことが見えてきます。

例えば、小金井で生活している私たちのまわりの、「自然環境」、「社会的・人工的な環境」に関して、市民・事業者・行政が協力してアイデアを出し合い、実践的な活動を通じて「こころゆたかに暮らせるまち小金井」のまちづくりを進めます

コ・ラ・ム

環境博覧会に向けて、おすすめの一冊

「環境がわかる絵本」



文・佐伯平二
イラスト・長崎訓子
発行・山と溪谷社

・環境問題？
G: やだよ！めんどくさいもん！
リサイクル？リユース？リターナル？
G: 何それ？捨てちゃった方が早いよ！
・合成洗剤？
G: 白くなるし、柔らかくなるし、気持ちいいじゃん！
・車の排気ガス？
G: 気にしない。気にしない。便利だモン！
・ゴミの分別？
G: あれって、めんどくさだよ！いちいちさ、わかんないよ！有料なんだから、いいじゃん！

もったいない？
G: 水なんていっぱいあるじゃん。暑いのも寒いのもいだから夏はクーラー冬はストーブだよ！
お菓子？
G: 大好き！特にカラフルなチョコとか色んな味のポテトチップなんか好きだなあ！
野菜は嫌い。肉は好き。魚はまあまあかな？
鮭とか刺身とかね。
★でも、少しは環境のことも気にしてみようかな？
(早崎眞佐子)



環境市民会議からの告知

■環境市民会議運営会議

9月29日(土) 10:00-

場所: 第二庁舎8階801会議室

- ・各部会報告
- ・環境フォーラムの成果と反省
- ・今後の企画について 他

*議案提案は事前に事務局までお寄せ下さい。
(環境市民会議にご興味のある方は、遠慮なくおいで下さい。)

■かんきょうサロン

9月29日(土) 11:30-13:00

場所: コミュニティ・スペース湧 (小金井市本町6-5-3 シャトー小金井1F)

お食事をしながら、小金井の「かんきょう」について語り合ってみませんか?かんきょうサロンは、どなたでも気軽に立ち寄っていただける、みんなの交流やフリートークの場です。

今回の話題提供『私と野川』藤崎正男さん(環境市民会議会員)

これまで、野川を通して小金井を見続けてこられた藤崎さん。藤崎さんが、野川とご自分の関わりや思いを語ってくれます。私たちのあまり知らない野川の不思議もあるそうですよ。



食事付き(要予約一事務局緒方く電話/ファックス
042-382-2880、またはメールjimukyoku@koganei-
kankyo.org>まで)

参加費1,500円(昼食/飲み物代含む)

(かんきょうサロンのみのご参加も歓迎です。)

■地下水調査部会

湧水量の調査をするにあたり、測定場所の検討をしました。8/7に候補の中から、滄浪泉園・貫井神社・新次郎池の3ヶ所を実踏。現在のままで測定可能な滄浪泉園と新次郎池の2ヶ所を、9月から測定することにしました。

・10月の調査

10月以降は、毎月第一日曜日、午前11時集合になります。

(詳しくは近日中に環境市民会議ホームページでお知らせします。)

■環境講座

環境市民会議では、外部から環境の専門家をお招きし、環境講座を開催しています。現在、ゴミ部会と、地下水調査部会が年内開催を企画中です。

(詳しくは近日中に環境市民会議ホームページでお知らせします。)

■東京学芸大学

現代GP『We Love Tamagawa いのちをつなぐ138〜多摩川エコミュージアム・ネットワーク・シンポジウム〜』

日時: 2007年11月17日(土) 10時~17時半(終了後、交流会)

場所: 東京学芸大学 講義棟(S410 ほか4階全フロア)、環境教育実践施設多目的室、彩色園など

主催: 東京学芸大学地域と連携した環境学習推進委員会・植物と人々の博物館プロジェクト。

学生・市民が一緒になって多摩川をめぐるエコミュージアムに蓄積された知恵を共有し、流域住民に広く伝え、上・中・下流の人々の環境学習活動をつなぎます。

(詳しくは、<http://www.fsifee.u-gakugei.ac.jp/millets/framepage1.htm>で)

■会員募集中!

環境市民会議は、現在会員を募集中です! 入会ご希望の方及びお問い合わせはは小金井市環境部環境政策課または下記のホームページで随時受け付けています。
環境政策課 TEL:042-387-9817

小金井市環境市民会議会報[くるりんぱ] No.6

2007年9月発行

企画・編集・デザイン: 小金井市環境市民会議事務局

緒方恵一、曾我信也、多田岳人

編集協力: 早崎真佐子、瀧本広子、串田光弘

制作協力: 小金井市環境政策課

ホームページ www.koganei-kankyo.org

メール jimukyoku@koganei-kankyo.org